

豊かな水を次世代に

8月17日（金）生活環境の改善と豊かな水環境を次世代に残すため、所管事務調査として、多々良川浄化センターを始め3施設を視察研修しました。

多々良川浄化センター

須恵町を含む糟屋郡6町で構成され、平成6年度からそれぞれの町で排出された、し尿や生活排水を終末処理場に集め、高度な方法により処理し、きれいな水として多々良川に放流しています。

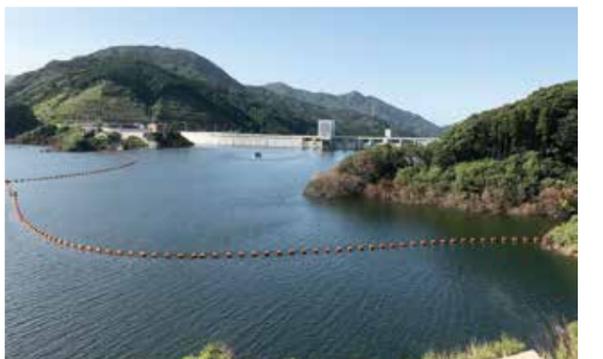


生活排水では、野菜くず、食べ残し、油やシンナーのような揮発性の高い薬品など、またトイレには、水に溶けない新聞紙やティッシュ、ビニールくずなどを流さないように注意が必要です。

五ヶ山ダム

昭和53年の大洪水を契機に計画され、平成24年度着手、本年3月に完成しました。

総貯水容量4020万立方メートルで、南畑ダムの上流に位置し、洪水対策と渇水対策を主目的として建設されました。



試験湛水中の五ヶ山ダム

山口調整池

筑紫野市山口にあるこの調整池は、筑後川の水量低下や施設の点検等で通水できない場合などに備えた予備水源として、平成10年に竣工しました。

五ヶ山ダムと共に福岡地区水道企業団事業の一環であり、企業団に約6割の上水を依存する私達の町に直接関係する施設です。

森林や河川の環境保全が重要であると改めて思いました。

須恵つ子ルーム

7月27日（金）地域活性化センターにおいて実施されている、子どもの居場所づくり事業の視察を行いました。

視察のひと言

オイコス（地域活性化センター）1階のレクリエーションルームは、子どもたちでいっぱいです。講師の呼びかけに、元氣いっぱい手をあげたり、立ち上がって背伸びをしたり。お絵描きが始まると楽しそうに描いています。集中している子もいれば、お話ししている子もいます。のびのびしてほほえましいものです。

エアコンの効いた快適な室内で、大人たちに見守られて過ごすことは、子どもたちにとっても、保護者にとっても、安心できるものではないでしょうか。

子どもの居場所づくり事業

須恵町の子どもの居場所づくり事業は、夏休み期間中に留守家庭で日中保育できない保護者



に代わり、児童の保護を行うことを目的とした子育て支援事業で、公益法人シルバー人材センターに委託しています。

平成28年から始まった本事業は、本年度3年目です。国と町からの補助金に、利用者の保育料を併せて運営されています。春、夏、冬休みに行われており、本年の夏休みの参加者は63人でした。年々増加しています。

主な内容は

期間内のプログラムは工夫を凝らされ、子どもたちが飽きないようにゲストも充実しています。

須恵レクの会をはじめとするボランティアの皆様や、須恵高校生との交流会、有名企業のボランティアの派遣もお願いしているそうです。

室内は、一人一人に荷物ボックスがあり、整理整頓されています。お弁当とお茶は持参ですが、おやつは準備されています。



事務調査を終えて

今年の夏は、観測史上最高な言葉が頻発する酷暑でしたが、気温だけでなく天候も激しいものでした。その中での視察でしたが、本事業は安心できる取組を行っていることを確認できるものでした。

シルバー人材センターをはじめ、関係者の皆様には、さらに充実した活動ができるよう、議会としても支援してまいります。

